

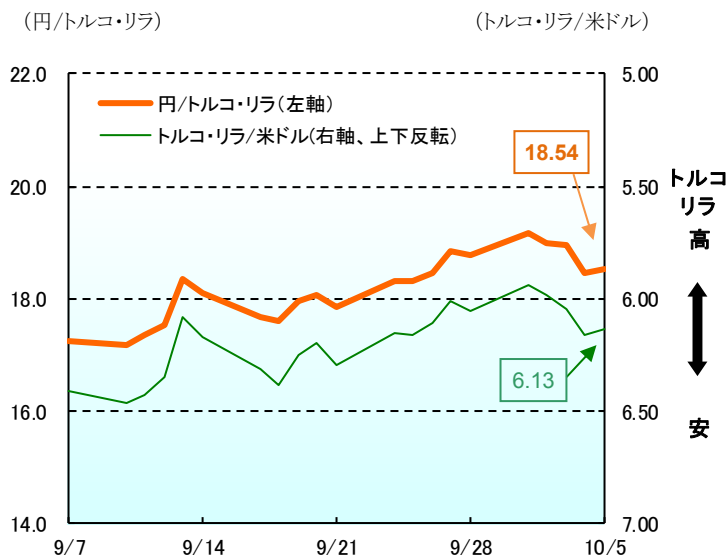
【2018年9月29日～2018年10月5日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利は上昇しました。

3日(現地、以下同様)に発表された9月のCPI(消費者物価指数)は、市場予想を大きく上回りました。トルコ・リラは対米ドル・対円ともに下落しましたが、アルバ伊拉克財務相はインフレ対策を発表するとの声明を出したことで比較的落ち着いた動きでした。国債金利は、次回の金融政策決定会合における追加の金融引き締めが意識され、上昇しました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2018年9月7日～2018年10月5日)



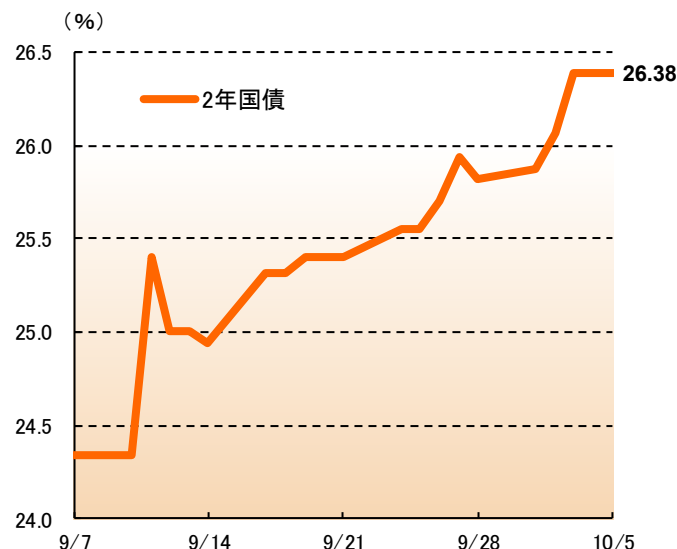
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は10月12日にトルコの裁判所で行われる米国人牧師の聴聞が注目されます。米国人牧師の拘束は米国との関係悪化の主因の一つでしたが、エルドアン大統領の体面を保ちつつ、司法判断の下で釈放に至るのではないかと市場で期待されています。

また直近で、米国を拠点にして自国を批判していた著名なサウジアラビア人ジャーナリストがトルコのイスタンブールにあるサウジアラビア総領事館で失踪したとされる事件について、トランプ米大統領が懸念を表明していました。トルコ当局は積極的な捜査協力姿勢を見せており、米国との関係改善が進むのではとの思惑が浮上しそうです。経済指標では、経常収支が発表されます。

【トルコ 金利推移】 (2018年9月7日～2018年10月5日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>